

第1号議案 平成22年度事業報告及び収支決算報告（案）について

I 平成22年度事業報告

(□) 農村更生協会

1 会議の開催

(1) 理事会、評議員会の開催

- ・ 平成22年度第1回評議員会及び理事会
平成22年6月14日（月）、瑞穂会館において第1回評議員会（10:30～12:10）及び理事会（13:30～15:00）を順次開催し、平成21年度事業報告及び収支決算報告（案）について審議。全員一致をもって原案通り承認された。
- ・ 平成22年度第2回理事会
平成22年6月14日（月）、瑞穂会館において第2回理事会（15:30～16:00）を開催し、役付役員の選任について審議。全員一致をもって原案通り承認された。
- ・ 平成22年度第3回理事会
平成22年9月27日（月）、瑞穂会館において第3回理事会（13:00～13:15）を開催し、財産処分について審議。全員一致をもって原案通り承認された。
- ・ 平成22年度第2回評議員会及び第4回理事会
平成23年3月30日（水）、瑞穂会館において第2回評議員会（10:30～11:45）及び第4回理事会（13:30～15:40）を順次開催し、平成23年度事業計画及び収支予算（案）、公益財団法人への移行について審議。全員一致をもって原案通り承認された。

(2) 常任理事会の開催

業務運営に関する経常的な事項を処理するため、平成22年6月2日、8月3日、10月6日、12月9日、平成23年2月9日の5回、八ヶ岳中央農業実践大学校（以下「大学校」という。）において開催した。

(3) 経営管理委員会の開催

大学校の経営および管理上の諸問題を評価、検討し、学校運営に関して各般の改善を図るため、平成22年6月1日、8月2日、10月5日、12月8日、平成23年2月8日の5回、大学校において開催した。

(4) 評議員・理事懇談会の開催

平成22年11月24日（水）、瑞穂会館において評議員・理事懇談会を開催し、大学校の現状と課題及び新しい法人制度への移行について意見交換を行った。

2 大学校の運営体制等の整備

(1) 技術顧問の設置

先進技術教育の充実、先進技術を導入した効率的な農場経営の実現等を図るため、引き続き各部に技術顧問を設置した。

(2) 大学校の在り方検討会等の開催

引き続き大学校内に教職員を中心とする「大学校の在り方検討会」を設け、教育と農場経営の改善に係る諸問題について検討し、随時実行に移した。また、教育事業の今後の方向（研究科と専修科のあり方等）について協会の役職員を交えて内部検討を行った。

3 その他

(1) 所有地の有効活用

公的機関等からの土地賃貸要請については、大学校の運営に支障の生じない範囲で対応した。

(2) 新公益法人制度への移行準備

公益財団法人への移行を目指し準備作業を開始した。

(3) 関係団体等との連携・協力

(社) 全国農村青少年教育振興会、(財) 日本農林漁業振興会、(社) 海外農業開発協会等、関係団体の活動に対して連携・協力した。